

演奏予定曲目

- ◆エルガー：愛のあいさつ(トリオ)
- ◆ディルク：ひばり(ヴァイオリン&ピアノ)
- ◆クライスラー：愛の悲しみ(ヴァイオリン&ピアノ)
- ◆サン＝サーンス：白鳥(チェロ&ピアノ)
- ◆カタロニア民謡：鳥の歌(チェロ&ピアノ)
- ◆ショパン：幻想即興曲(ピアノ)
- ◆ダンクラ：モーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ」の主題による二重奏曲(ヴァイオリン&チェロ)
- ◆ブラームス：ハンガリー舞曲第6番(トリオ)(休憩)
- ◆メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第1番 二短調 作品49

※プログラムは変更になる場合がございます。

Hitomi
Nikura

Takako
Takahashi

Eriko
Iso

人気、実力を兼ね備えたミュージズたちが伊那市に初登場！

新緑に響き合う音の旅

椿三重奏団

高橋 多佳子
(ピアノ)

磯 絵里子
(ヴァイオリン)

新倉 瞳
(チェロ)

(C)Yoshinobu Fukaya

2021年5月1日(土) 長野県伊那文化会館 小ホール

14:00 開演 (13:30 開場)

全席指定

一般:1,000円(税込) 高校生以下:500円(税込)

※未就学児のご入場はご遠慮ください

●チケット販売:2021年3月13日(土)~ ●プレイガイド:長野県伊那文化会館

【チケットのご予約・お問合せ】長野県伊那文化会館 TEL0265-73-8822

●主催:長野県伊那文化会館 ●共催:長野県/長野県教育委員会/伊那市/伊那市教育委員会

●協力:アールアンフィニ・レーベル/株式会社ミュージズエンターテインメント

椿三重奏団 / 高橋 多佳子(ピアノ) 磯 絵里子(ヴァイオリン) 新倉 瞳(チェロ)

それぞれが日本を代表するソリストとして、室内楽奏者として活動を続ける3人の出会いは2008年。高橋と磯の出演するトリオの演奏会に急遽参加することとなった新倉は当時まだ大学生でしたが、意気投合し、その後も折に触れて共演を重ね、レパートリーを拡大し、音楽を成熟させてきました。

2017年の幸田町民会館つばきホールでのコンサート後にトリオ名を付けて常設のピアノ三重奏としての活動を決意。椿が日本原産の樹木であり、18世紀にヨーロッパに渡り「東洋のバラ」と呼ばれ人気を博したこと、白い椿には「完璧な美しさ」という意味があることを踏まえて、日本人としてのアイデンティティと、西洋のクラシック音楽に携わる3人を重ね合わせ、2019年、あえて「カメリア・トリオ」など欧文にしない「椿三重奏団」と命名されました。

2020年2月に初のCD「メンデルスゾーン/ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番」(アールアンフィニ・レーベル)をリリース。その歳月を重ねたがゆえの熟成した3人のアンサンブルはエモーショナルでダイナミック、そして精緻との評価を受け「レコード芸術誌特選盤」に出されました。

コロナ禍のため、当初予定していた公演が多数、延期やキャンセルになってしまいましたが、こちら伊那市では開催出来ることとなりました。伊那市では、初のお披露目公演となります。

Profile

高橋 多佳子(ピアノ) Takako Takahashi, Piano



第12回ショパン国際ピアノ・コンクール第5位、第6回ポルト市国際音楽コンクール第2位、第3回ラジヴィーウ国際ピアノ・コンクール第1位、第22回日本ショパン協会賞などを受賞。桐朋学園大学卒業、国立ワルシャワ・ショパン音楽院研究科修了。ワルシャワフィルをはじめ、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東響、東京都響など国内の主要オーケストラと共演を重ねる。既に21タイトルのCDをリリースし、その多くが「レコード芸術誌特選盤」となる。2015年刊行の《ショパンの本》(音楽之友社)ではDVDでの演奏を担当。2010年から《茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会》全国ツアーに参加。ソロ活動の他に《デュオ・グレイス》、《椿三重奏団》としても活動。ヨーロッパの著名な国際音楽祭への出演、中国での公演、ポーランドの《青少年のためのショパン国際コンクール》、ロシアの《ラフマニノフ国際コンクール》に審査員として招聘されるなど国際的キャリアも築いている。

オフィシャル・サイト facebook.com/takakoChopin1990

磯 絵里子(ヴァイオリン) Eriko Iso, Violin



桐朋学園大学卒業後、その才能を高く評価したI.オイストラフ氏に招かれ、文化庁芸術家在外派遣研修員としてブリュッセル王立音楽院に留学。修士課程大賞を受賞し首席修了。マリア・カナルス国際コンクールほか国内外のコンクールで入賞。ソリストとして日本フィル、東京フィル、名古屋フィル、神奈川フィル、チェコフィル、フランダース放送響他国内外のオーケストラと多数共演し、「知性と感性と技術の実力派」と高い評価を得る。宮崎国際音楽祭へは毎年参加、テレビ・ラジオ出演も多く、2010年よりFMヨコハマ「磯 絵里子の SEASIDE CLASSIC」のパーソナリティを務め、2019年に放送500回を迎えた。ソロ活動に加え、「デュオ・プリマ」「EnsembleΦ(ファイ)」「椿三重奏団」など室内楽でも多彩な演奏活動を展開。アウトリーチ活動にも積極的に参加している。(一財)地域創造 公共ホール活性化支援事業登録アーティスト。現在10枚のCDが好評発売中。洗足学園大学講師として後進の指導にもあたっている。真摯な演奏への取り組み、確かな技量に基づいたヨーロッパ仕込みの洗練された感性には定評があり「気負いのないしなやかな活動ぶりや、クラシック音楽シーンで着実に存在感を放っている」など各媒体で高く評されている。

オフィシャル・サイト erikoiso.jp

新倉 瞳(チェロ) Hitomi Nikura, Cello



桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂新人演奏会に出演し御前演奏を行う。その後スイスへ渡りバーゼル音楽院ソリストコース・教職課程の両修士課程を最高点で修了。これまでに毛利伯郎、堤剛、Thomas Demenga、Martin Zaller(パロックチェロ)の各氏に師事。国内外での受賞歴も多数、近年では18回ホテルオークラ音楽賞を受賞。桐朋学園大学在学中にEMI Music JapanよりCDデビューを果たし、これまでにEMI Music Japanから3枚のアルバム、Art Infini(Sony Music Direct)より2枚のアルバムが発売されている。現在はCamerata Zürichのソロ首席チェリストとしてスイスを拠点に活躍する中、ソリスト、室内楽奏者として全国各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ね、司会、番組ナレーション、音楽劇、演奏家のためのドレスM Maglie le cassettoのプロデュース等、活動の幅を広げ音楽の素晴らしさを広く深く伝えようとする姿勢は多くの共感を集めている。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたGiovanni Grancino(1694年製)。

オフィシャル・サイト hitominiikura.com

ご来場のお客様へのお願い

- ◆ご鑑賞中も含め、館内では常時マスクの着用をお願いいたします。
- ◆入場時の検温にご協力ください
- ◆以下に該当する方はご来場をお控えください。
 - ・37.5度以上の発熱や咳、咽頭痛など風邪症状のある方。
 - ・体調に不安がある方。
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方。
 - ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。
- ◆こまめな手洗い、手指消毒の励行をお願いいたします。
- ◆エントランス、ホワイエ、通路、トイレなどでは周囲の方との距離を保って、密集を避けるようご協力ください。

椿三重奏団デビュー、薫り立つ白い椿のアンサンブル

椿三重奏団

メンデルスゾーン&ブラームス：ピアノ三重奏曲第1番

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 作品49
ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8
ブラームス：ハンガリー舞曲 第6番 二長調
ブラームス：ワルツ 第15番 変イ長調 作品39-15
モンティ：チャルダッシュ



高橋多佳子(ピアノ)
磯 絵里子(ヴァイオリン)
新倉 瞳(チェロ)

~NOW ON SALE~

MECO-1057 定価¥3,000+税
アールアンフィニ・レーベル ART INFINI
企画制作：(株)ソニー・ミュージックダイレクト
発売：(株)ミュージックエンターテイメント